

令和元年度 鶴見・まちづくりゼミナール 実施レポート

● 第5講開催概要

開催日時：令和2年2月16日(日) 9:30~12:30

会場：鶴見中央地域ケアプラザ

テーマ：活動プランを組み立てる

コーディネーター：山路清貴氏（横浜市まちづくりコーディネーター）

出席者：受講生26名／区役所関係者5名 計31名（保育申込者：1名）

● 講座当日の様子

(1) まちづくりコーディネーターの山路さんの講義

「地域社会に溶け込むコツ」というタイトルでお話をいただきました。

様々な人とまちをつくり上げていくために必要な考え方をはじめ、ご享受してくださいました。



(2) 活動プランを組み立てるためのグループワーク

グループのメンバーに対して、各々の持つプランを発表しました。その後、発表者に対して意見やアドバイスを付箋に書き、意見交換の場を深めました。自分の意見だけでなく、他人の意見を聞くことの大切さや面白みを感じられました。

また、山路さんが各グループを回ってくださいました。プランに対して貴重なアドバイスをたくさんいただき、自分の作成してきたプランの輪郭がより明確になりました。





会場の鶴見中央地域ケアプラザの職員の方から、施設の紹介もしていただきました♪



● 受講生の感想（一部抜粋）

参加者のみなさんとこれまでで一番ゆっくりとお話してきたことが良かったです。アバウトな活動プランのアイデアだったにもかかわらず、多くのアドバイスを頂けたことはうれしくもあり、プラン作成をちゃんとしなくてはと若干のプレッシャーも。

たくさんの意見がもらえたので、考えにまちづくりプランが現実味を帯びたものになった。既存のイベントも調べて、どのように開催・運営されているのかも見てみたいと思った。その上でさらに実現に向けたプランにしていきたい。

みなさんたくさんのアイデアをお持ちなので、このまちづくりゼミナールで出たアイデアをあぶりおなどを通じて広報にできると、興味を持った人が集まって活動が広がるのだと思いました。

つながっていくことがとても大切であると理解しました。目に見えない順番とかつながり方があるようなので、その方法のようなものを知りたいです。

今日もとても勉強になりました。まちづくりゼミナール含め、地域には宝がたくさんあるのだなと改めて思いました。

● 編集後記（編集者：伊藤晴香（受講生））

第5講では、今までに講座で学び、得てきたものを昇華できる時間になりました。残すところあと1回となり、名残惜しさがあります。次回はいよいよ最終講です。各々がこれまでの講座を通して考えたプランを発表する場です。他の受講者さんのプランを聞くのが楽しみです。